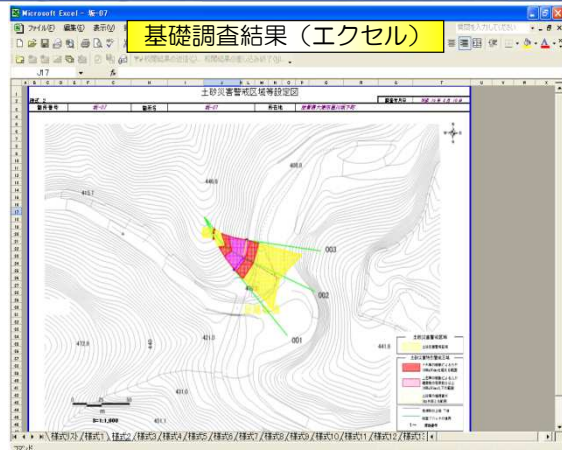
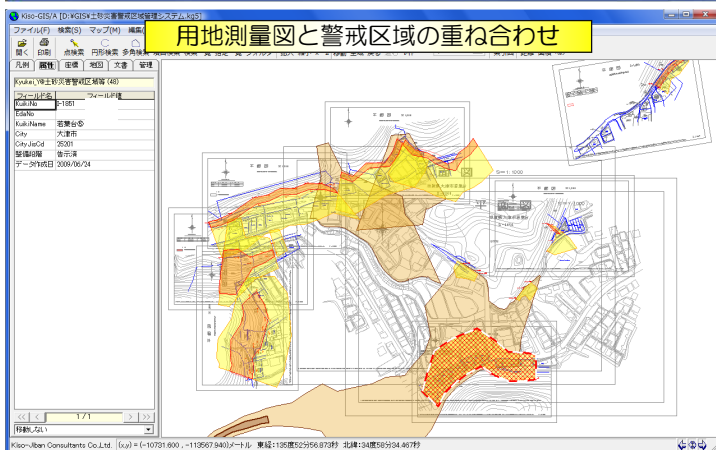
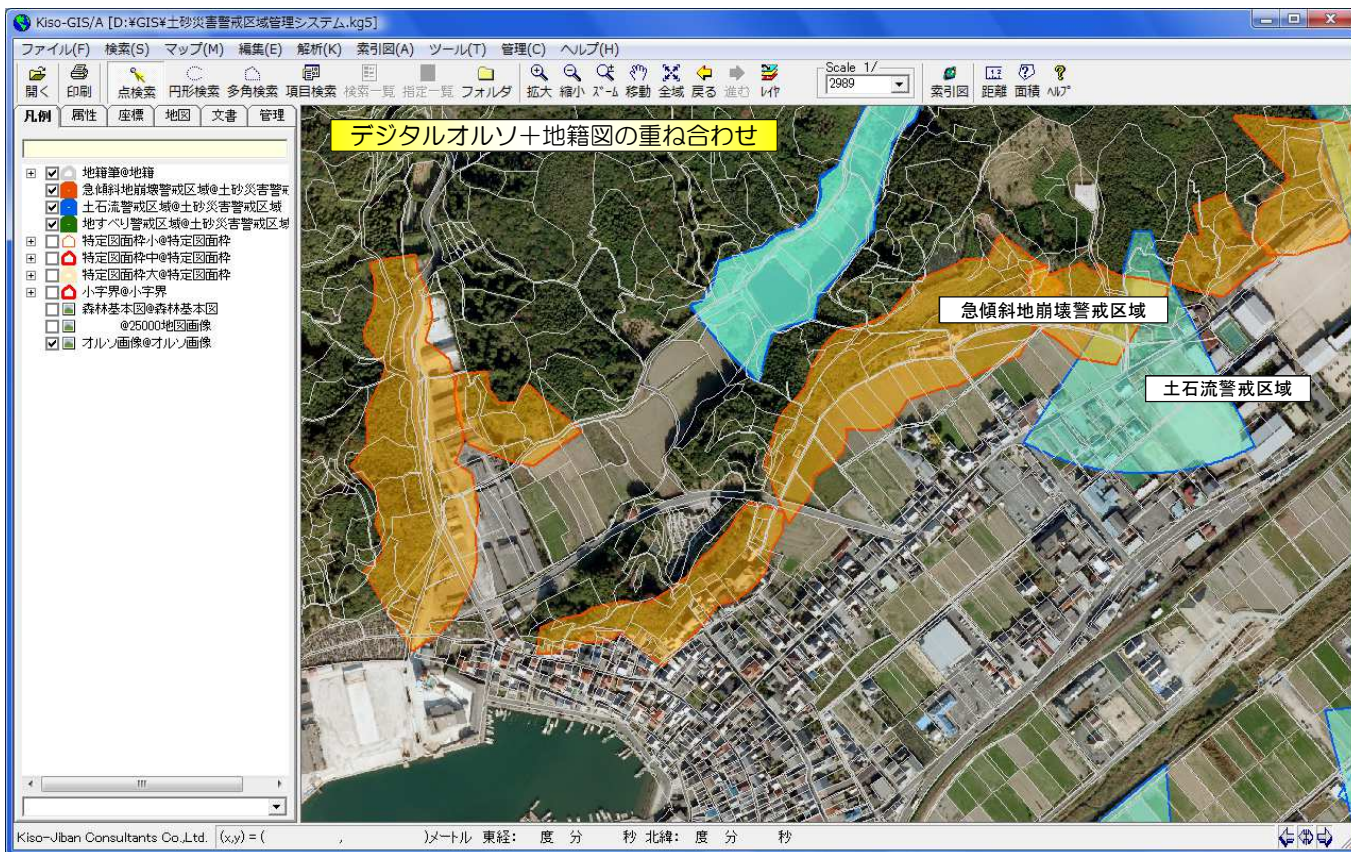


『土砂災害警戒区域管理システム』

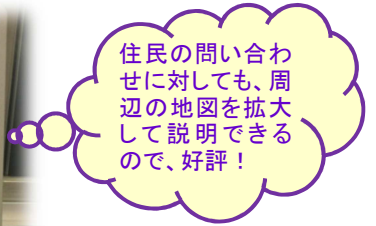
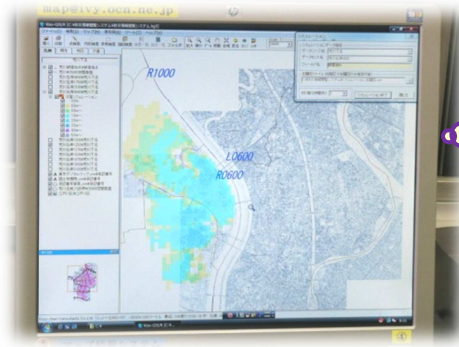
土砂新法の基礎調査成果を砂防基盤図・デジタルオルソ上に展開し、迅速に検索・表示・印刷する管理システムを構築します。

システムの特徴

- 地図表示が**速い** : デジタルオルソ、1/2500 砂防基盤図でも、高速スクロール
- データ**互換性** : 警戒区域の入出力は汎用のシェープファイル形式の他、10種類以上対応
- CAD 図面の取り込み : 地籍図、用地測量図等のCAD 図面を簡単なデータ変換で取り込み可能
- データ**更新は直営** : 直営によるデータ更新が基本。そのため初期投資のみで、維持費不要
- システム**拡張が容易** : スタンドアロン型からネットワーク型、さらに Web 版まで拡張が容易
- **安価**に実現 : 標準システムなら、非常に安価に導入可能



閲覧システムの利用例（写真提供：東京都江戸川区防災管理課 様）



直営によるデータ拡張（様々な地図やデータを、必要な時に、必要なだけ追加）

- 砂防 GIS へ段階的の整備： 最小限の地図と管理データからスタートし、順次、レイヤを追加しながら構築
- データ登録は直営： 警戒区域だけでなく砂防指定地、土砂災害危険箇所、斜面カルテの登録も直営で可能
- 災害危険度の算定： 災害時要援護者施設に砂防危険箇所、災害履歴を重ねて、空間的な災害危険度を算定
- 市町配布データの作成： 絞り込み検索により対象地域のデータを抽出し、市町等への配布データを簡単に作成

